

KM
1

四つ組ダブルブレスレット ～尾花～

ビーズ用組み糸付



3,300円(本体価格)

四つ組はシンプルな構造ですが均等に美しく仕上げるのが難しい組み方です。重り玉の重みを活かして組んでいく基本の動作を学びます。刺しゅう糸と特大ビーズでひもを組み、すすきの花穂のようなフリンジを作ることがデザインポイントです。作品名の尾花はすすきの別称で万葉集にも歌われています。

KM
2

八つ組ネックレス ～藤～

<グリーン>



<パープル>

各3,100円(本体価格)

江戸八つ組とも呼ばれ、動く糸の隣を1本飛び越しながら、右に4回、左に4回、合わせて8回組みます。糸を使わず太さの違うリボンとマガ玉ビーズだけでひもを組みます。リボンに対して適度な重さの重り玉で締めながら組むことで繊細な模様になります。作品名の藤は、日本古来の花木で万葉集にも歌われています。

KM
3

丸源氏組ブレスレット ～銀木屋～

ビーズ用組み糸付



2,500円(本体価格)

強く丈夫なことから源氏の名がつけられ、玉数を増やせる組み方です。色の違う矢羽根柄を交互に組み込んでいくところが特徴で、混ぜ柄の代表です。薄いオーガンジーリボン1枚に1個の重り玉をつけ、パールと丸大ビーズで組みます。リボンを4枚の花弁に見立て、江戸時代に中国から伝えられた銀木屋を表現しています。

KM
4

繁打組チョーカー&ブレスレット ～桜～

ビーズ用組み糸付



5,400円(本体価格)

八つ組の最初の右手の組み方が違うだけで平組ひもになり、厚手で組目が目立つ組み方です。天正期(安土桃山時代)には日本刀の下緒に使われました。4色の丸大・丸中ビーズを糸に通し、隙間を無くした状態で組みます。日本を象徴する花、沢山の人から愛される桜を表現しています。

KM
5

金剛組ネックレス ～桔梗～

ビーズ用組み糸付



3,900円(本体価格)

金剛石のように丈夫で固く強いひもになるので金剛組と呼ばれます。右回りはS方向の、左回りはZ方向の螺旋模様になり、海外でもっともポピュラーな組み方です。銀の鎖状のコードと、5色の丸大ビーズで組みます。古来より親しまれる桔梗の花をイメージし、どのような角度から見ても映えるデザインです。



作品デザイン
高木 洋恵

